



# 志津南 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/1 現在)  
世帯数 2,200 総人口 6,113 人

発行  
志津南学区まちづくり協議会  
(事務局) 077-507-6496

## 追分鴨田の町並み



### 追分鴨田

追分鴨田は平成27年4月1日現在53世帯の子育て世帯が多い町内会です。町内活動としては、年に1回、7月に町内一斉清掃を行っています。

一斉清掃は2つある公園を中心に、子どもたちが安

## ふるさとと交付金を積極活用

### 地域史誌製作や防災備品に

志津南学区まちづくり協議会は昨年度、草津市が平成24年度から4年間限定で実施している「地域ふるさとづくり交付金」150万円

### 地域史誌製作スタート

①ふれあい夏まつり等で使用するテントを4張と②テントの骨組を1張購入③学区内の会則・規則類をファイルに綴込み、全戸に配付④防災訓練で活用できるように消火用ホースのノズルを停止機能付きのものに更新し

志津南学区の地域史誌製作委員会(委員長・中原勝一(まち協会長))は5月30日、第1回会合を開き、遅ればせながらスタートを切りました。

昨年度の「地域ふるさと

ました。今年度も同様に150万円の交付を申請し、次の3

つの事業①新しく加入した追分南町内会の消火用ホースのノズルを停止機能付き

「地域史誌」を活用して進めるもので、来年3月末には全戸配付して、皆さんのお手元にお届けできるようにしたいと考えています。

地域史誌は「志津南のあゆみ」と題して写真・地図・図面・表・グラフなどを多く取り入れてビジュアルなものにし、多くの皆さんに

心して遊ぶことができるよう、町内の方々にお願いで協力していただいています。

志津南学区の中でも規模の小さい町内会のため、子どもを連れて公園で遊んでいると、自然に人が集まってくるような、仲の良い光景の見られるところが、追分鴨田の良いところです。

これからも、町内会の活動や、学区内の行事を通して、志津南学区の一員として、活力あふれるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

のものに更新②地域史誌を製作し、全戸に配付③ふれあい夏まつりのときの電気ケーブルを地上配線しないで済むよう、若草中央児童公園で電気ケーブルを埋設化を実施することになりました。

楽しんでいただけるよう仕上げるつもりです。なお、製作委員会は各町内から選出の13人の委員で構成されています。

### まち協だより

第1回理事会 (平成27年5月2日)

- ①まち協の総会は最高議決機関であり、代議員1名あたり約15戸の責任を負っていることから代議員の無断欠席は許されるものではない。また安易な委任状提出は控えるべきで、来年度の代議員に、このことを必ず伝えてもらうよう要請した。
- ②コピー代金・用紙代について、各種団体の分は従来通り本部経費で処理するが、町内会の分は各町内会で負担することに。
- ③各種団体の活動費会計処理要領の交通費の清算方法について、16円/kmを20円/kmに変更し、計算結果は10円単位に切り上げることに。

## 郵便局誘致で署名活動

若草五丁目にある草津若草郵便局は駐車場が2台分しかなく、周辺道路は普段から来局者の路上駐車があ

ふれ、事故の危険性が非常に高く実際に事故も発生している状況です。近くの郵便局としては青

地・玉川・矢倉にあります。追分南地区や青山・松が丘地区の住民は近くに郵便局ができることを切望しています。

これを受け、理事会では5月2日、追分南地区や青山・松が丘地区への郵便局誘致要請のため、住民の署名を集めることを決めました。

志津南学区と青山・松が丘地区の住



路上駐車が目立つ郵便局付近

### 夏まつりは7月25日に

第18回志津南学区ふれあい夏まつりは7月25日(土)午後5時30分から若草中央児童公園を会場に開催します。

多数のご参加をお待ちしています。

(夏まつり実行委員会)

# 地域協働合校が春の館外研修



志津南学区地域協働合校の「春の館外研修」が5月16日、米原市の「ローサンベリー多和田」で開かれ、参加した小学生40人と地域の方々がピザとシチューづくり挑戦しました。写真。

せ、手でこねていくと弾力を持つ生地が出来上がりです。子どもたちは生地の状態を確認しながら力の入れ具合などを工夫してこね上げていきました。次にみんでピザやシチューの具になる野菜を洗い、皮をむき、包丁で切る作業を協力しながら行いました。続いてピザの生地にもトマトソースを塗り、チーズやサラミや先ほど切った野菜をトッピングしました。子どもたちは思い思いにデザインしていました。そしていよいよ焼き上げです。石窯に入れると見る見る焦げ目がついていき、

1〜2分で焼きあがります。子どもたちは係のおじさんが均等に焦げ目がつくように窯の中でピザを回しながら焼き上げていく様子を興味深げに見ていました。自分で最初から作ったピザはとてもおいしく、温かいシチューと合わせて食べる格別でした。食事の後は施設の中のあるところに隠された文字を集めて答えを探すクイズラリーを楽しみました。

## 町並み保存委員会から

### ◇庭の全面改造

お母さん お父さんも定年になって、これから庭いじりが好きなだけ出来るわね。お父さん うん、思い切って庭を全面的に改造しよう。お母さん でも若草は緑化率が決まっています、木を切ったり垣根を変えたりするのには届け出がいるぞよ。お父さん 緑化率って何だい？ お母さん 私もよく知らない



いし、町並み保存委員でもある副会長さんに確かめてみたらどう？。副会長 若草地区には、良

好な町並みを守るために地区計画が定められていて、その中に緑化率というのがあります。これは、敷地面積に対して緑の面積の比率を定めたものです。若草の場合は、15割以上と規定されています。敷地面積はともかく、緑の面積はどうやって測るのか。難しいですよ。例えば、高木(4層以上)だと13.84平方メートル、生垣だと幅と長さを掛けた面積とか、芝生や花壇(プランターなど移動できるものは除く)の面積は算入しても構わな

いなど、厄介です。建築物は建てないけれど、樹木を切ったり生垣や花壇を変更したりするだけでも緑化率は変わりますので届け出が必要になります。詳しくは「若草地区町並み保存規則」基準をご覧になってください。お父さん 分かりました。計画が決まりましたら届出書を持ってきます。条文 「若草地区町並み保存規則」基準の「補足説明図」その2の9緑化に関すること」による。

## 若草・岡本西子ども会が新入生歓迎会

若草・岡本西子ども会(中村理恵会長)は5月23日、志津南市民センターで新入生歓迎会を行い、一年生から六年生まで総勢74人が参加しました。写真。中村会長のあいさつのおと、一年生の自己紹介を行いました。ピンポン玉リレーなどのゲームを行い、子どもたちは賞品をめざして競い合いました。学校では話をする



27日、志津南市民センターで行われました。写真。開講式終了後「さわやかコンサート」みんな楽しんで



い音楽を」と題して、第一回講座が公開講座として開かれ、66人が参加しました。講師は、昨年度の志津南シニアのついでで大好評を博した「アンサンブルdo

Ice(ドルチェ)の皆さんで、「カルメン組曲」「歌の翼に」などの本格的クラシックの楽曲を曲の背景や「ふるさと」「川の流れるように」では、ヴァイオリン、クラリネット、ピアノの洗練されたさわやかな音色に、参加者が一体となって声を合わせ、優雅な午後のひと時を過ごしました。

集まりになりました。(若草・岡本西子ども会)

# 春の一斉清掃に692人



年2回の一斉清掃に加え、今年から実施することになった若草・岡本西の中間清掃が5月24日、31日の2日間行われ、若草中央児童公園、若草東児童公園、若草西児童公園、岡本奥山児童公園など各町内の児童遊園、緑道を重点に、住民692人が参加しました。

環境委員会が美しい環境を維持するため、今年度から中間に春秋2回増やして実施することにしました。参加者はカマや剪定ばさみ、竹ぼうきを手に各班の持ち場に散り、生い茂る雑

## かがやきの丘でも一斉清掃

かがやきの丘町内会でも5月24日、今年度1回目の一斉清掃を行いました。雨が心配されていましたが、子供115人を含む

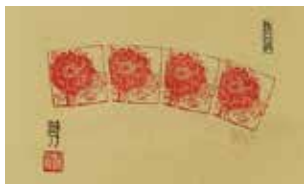
草や低木の剪定、ごみの撤去に汗を流しました。同10時頃には所定の集積場に「刈り草や剪定された小枝」の大きな山が築かれました。二写真。(環境美化委員会)

227世帯の方が参加、班単位で北・南の両公園や緑地帯を分担して、草刈りとごみ拾いをしました。

公園のブルーシートには山盛りの草が積み上がり、どの場所も清掃前よりすっかりきれいになり見通しも良くなりました。



篆刻「寿つぐし」蔵書印 (6.2飛子×6.2飛子) 制作 保賀金蔵 さん(80歳) 若草8丁目。制作歴30年 ひとこと「日本書写協会の員に作成した蔵書印です。寿老人、桃、靈芝を配し、中国産の寿山石に刻しています」



また、これに先立ち5月17日には有志「草刈隊」11人が緑地部分の草刈機による除草を行いました。次回、秋の一斉清掃も参加よろしくお願いします。

# 立命大生が地域活動に

志津南学区まちづくり協議会を提供することにしました。議会は4月22日に立命館大学から申し出のあった地域の3つの活動について、体験や研修を実施します。内容について協議した結果、緑化ボランティアの草刈り活動内容の研修などを通じて、学生たちに学びの機会

ふれあいハウス絆の活動について研修 ③交通安全活動 志津南小学校児童の登校時の安全誘導について、安全パトロールボランティア活動体験



## 地域サロン 「懐メロを歌う会」



ギター伴奏に乗って元気よく歌う参加者

スタート時は一人の伴奏でしたが現在では2人で担当、時にはハーモニイを付けて合奏・合唱とすることもあります。スタッフも7人に増えて、無理のない体制となっています。また、懐メロに限らず新曲にも挑戦しています。復興ソング「花は咲く」、そしてNHKの朝ドラの主題歌など楽譜を見ながら何回も歌っています。この2年間

は市民センターで行われるふれあい文化祭にも出演しました。毎回笑顔いっぱい元気な歌声が流れています。歌を歌い、人と出合い認知症予防につとめませんか。ご参加お待ちしております。(代表・村井教夫)

「懐メロを歌う会」は9年前に志津南市民センター多目的室を会場にスタート、この3月には170回を迎えました。毎月第2・第4火曜日、毎回30数人が参加し、午前10時から約1時間、10をアンコールして歌います。

### こよみ

- 6月20日(土)
    - ☆社会奉仕 8:30～
  - 6月23日(火)
    - ★地域サロン：懐メロを歌う会 10:00～11:30
  - 6月24日(水)
    - ★やすらぎ学級 13:30～17:00
  - 7月3日(金)
    - ★ふれあい昼食会 12:00～13:00
  - 7月4日(土)
    - ☆健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
    - ★ふれあい囲碁ボール大会(社協) 13:00～15:00
  - 7月14日(火)
    - ★地域サロン：懐メロを歌う会 10:00～11:30
  - 毎週金曜日
    - ☆ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00～12:00
 若草第五集会所
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

## バトンの情報記入表作成

志津南学区は昨年度、「日常の緊急救助・災害発生時の避難救助や緊急連絡の仕組み」として「安心のバトン」写真を導入、対象世帯の約40%、193軒の方に利用していただいています。



バトンは現場に駆け付けた救急隊員に医療情報や緊急連絡先などを知らせ、的確な救急活動をしてもらうための仕組みです。

導入から1年が経過し、記載内容の修正の必要な方や新たに利用したいと思っておられる方のために「救急情報記入表」を作成しました。

した。救助に必要な医療情報や緊急連絡先などを記入し、バトンに入れ、冷蔵庫に保管して下さい。

緊急時の救助に必要な時にのみ活用されるもので、個人情報が入る心配はありません。(志津南学区社協、民生・児童委員協)

## 健康 桐生へウォーキング



志津南学区健康推進員連絡協議会(北恵子代表)は5月23日、桐生キョウバ場周辺へ「はつらつウォーキング」を実施、24人の参加者が鮮やかな新緑を楽しみました。写真。ほどよく日差しがかけり心地良い風の後押しを受け

一時間ほどで桐生若人の広場に到着、そのまま続けて「たまみずぎの道」を散策する人、休憩する人、それぞれが自由に過ごし、昼食後は笑顔いっぱい全員で脳の活性を促すと云われる指遊びや懐メロを歌ったりして親睦を深めました。

## 健康活動で功労賞と感謝状受賞

長年にわたる健康推進員活動に対し、滋賀県から活動歴15年の廣嶋恵子さん(若草七丁目)に4月5日、功労賞が授与されました。

また活動歴10年の今大路清子さん(同四丁目)、千金樂晃子さん(同六丁目)、西村廣子さん(同同)の3人には同月8日、草津市から感謝状がそれぞれ贈られました。写真。



## 俳句への誘い

志津南市民センター(公民館)は、次の要領で志津南シニアのつどい事業を開催いたします。

▽日時 7月11日(土) 13時～15時

▽場所 志津南市民センター 大会議室

▽内容 「俳句への誘い」をテーマに俳句の基本と実作を学ぶ講座です。初めての方でも受講できます。

▽講師 草津市俳句連盟理事・井上次雄さん

▽対象 草津市在住在勤の60歳以上の方

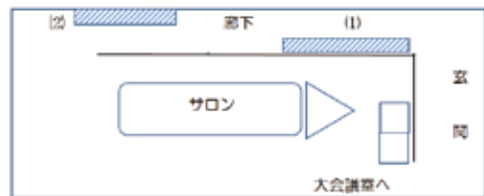
▽参加費 無料

▽申し込み・問い合わせ 同センター 電話(563)6206 多数の参加をお待ちしています。

## センターにサークル活動掲示板

志津南市民センター(公民館)は自主教室サークルの活動等の掲示をサロンで下図の通り、月替わりでそれぞれ紹介していきます。掲示は7月からスタート

掲示板配置予定場所



し1月末まで、3サークルずつ交代で行います。市民センターにお立ち寄りの際は、どうぞご覧ください。

## 折々の記



今年三月に車を買った。12年間乗った車が古くなった。ただそれだけのことだが、私にとっては人生で初めて自分の意思で選択した車だ。

父の仕事の関係もあり、決まったメーカーの車を決められた店舗で購入するのが常であった。さほど車に

## 自分で選んだ車

対するこだわりがなく、簡単に解けていった。一つ一発することもなかった。ひとつの選択や決定はささやかしら、父親の役に立てることががちょっとうれしく、決まったところで購入するの付き合いだからと諦めていた。

しかし、父の退職を機に、車も店舗も実際に自分で見て、比べて、選択したいという気持ち芽生えた。自分でも驚くぐらいの行動力で、契約を済ませた。今まで変えることができないと自分で自分を縛っていたものが、思いのほか簡単に決断する機会も増えた。

仕事のうえで、運転する時間が増え、この四月から職場が変わり、